

（端裏書）

「九右衛門様 彦右衛門

貴答御用 』

辱拝誦仕候、偕今日御見分
之砌御挨拶之後御尋被遣私も
稔と決定も不仕近年御巡見様
之節毎々御見分御座候得共拙宅
江^者度々御奉行様御寄被成候ニ付
別段御挨拶ニハ罷出不申、其余ハ
如何哉覺へ不申、尤御穩便、又^者
盆中門前御廻り之砌ニ御挨拶ニ
罷出候間今日も戸口へ出懸御目
可然哉ニ奉存候、御挨拶被成候ハ、平服
脇差ニ而御出可被成候、小子も同様ニ
仕度候、先ハ急ギ貴答迄□□□□候、以上
五月廿二日